

平成25年度 杉森中学校 第5回学校運営協議会 会議録

日時 平成 25 年度 10 月 10 日(木)17 時 00 分～18 時 30 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 高崎 彰
安藤 雄太
岡田 円治
由井 営太郎
大熊 康子
國藤 久司

大橋 亮介(校長)



《杉森中学校事務局》

田邊 克宣(副校長)

長谷川 祐子(嘱託事務)



会 長

この時期は、合唱コンクールがありますね。来年度に向けて学校運営協議会の予算と人事、ということで動き出しますね。運営協議会でも丁寧に見て話し合っていきたいと思っています。学校からの報告をお願いします。

校 長

中間審査中のため、今回は教員は欠席です。9月27日に鎌倉に校外学習に行きました。28日からは3年生が修学旅行で、奈良・京都に行き無事に帰ってきました。残念だったのは、携帯電話の持込があったということです。今後とも指導を続けていきたいと思っています。

3年生は2年生でのスキー教室の経験が生きて、笑顔で過ごしてまいりました。班行動が仲良くできていたと思います。宿舎でも仲良く過ごすことができました。

28日杉一・馬橋小の運動会ボランティアをしてきました。とてもよく活躍していました。運動会の途中で紹介をしていただいた。これからも小中の連携がとれればよいと思います。

10月23日に国立オリンピック記念青少年センターで、合唱コンがあります。聞きに来ていただければと思います。

副校長

2年生の鎌倉校外学習では、保護者が携帯やおやつを持たせるケースがありました。保護者の意識と学校の意識に違いがあったようです。

先週、震災訓練がありました。地域で156名の参加がありました。中間試験前ではありましたが、中学生レスキュー隊が簡易担架をつくる体験をしました。今週の土曜日ふれあい運動会(障碍のある子供たちの運動会)に9名のボランティアが参加しました。

合唱コンのパンフをお配りしましたが、3年生の取り組みがとても良いです。ぜひ当日聞きにいらしてください。

10月30日に校内研があり、2年の理科後藤が研究発表をします。11月20日小中合同研究会があります。

10月7日に加藤主幹による進路説明会がありました。

生活指導は大きな動きはありません。



國籐委員

「学校づくり推進フォーラム」で大分に行ってまいりました、大分大学の中川教授が中心になって動いていらっしゃいました。教育を共にするという事から地域を運営していくという事に関する第一人者といえると思います。資料を置いていきますので読んでみてください。

行政側のご挨拶で印象的だったのは、文科省の方が教育委員会や学校が文科省の傘下というのではなく、地域の自治で動いていくんだということです。

パネルディスカッションは、これまでの変遷を紹介するものでした。

運営協議会がまだ煙たがられる存在であるということ。学校運営側からすると外部の介入であると考えている校長を初めとした経営者がいるであろう。しかしうまく運営協議会が地域とともに機能しているところ、高く評価しているところは、むしろ保護者と学校のフィルターとして存在している。PTA が何かあった時に、いきなり学校(管理職)に話すというのではなく、第三者機関としてワンクッションおくことができる。バックアップができる。そういう事で成功しているところもたくさんあるようです。地域運営学校として参画しようとしている方が多く参加されていました。大分会場もたくさんの参加者で、別会場でビデオを流したりもしていました。フォーラムに参加してみて、やはり杉森の運営協議会は先行して色々とやっているんだと思いました。

実践発表では過疎化をとめたいということで地域の将来的なことをやっで行きたいというパワーを感じました。参考にはなりますが、都会とは少し違いますね。ご勇退された方々が率先して活躍されていました。運営委員としても自ら発信していかなければならない等、色々と考えていかななくてはいけないなと思いました。



会 長 では、協議に入ります。学校運営協議会の組織図を出しましたので、訂正がありましたらお知らせください。

 広報誌についてですが、土曜日授業について特集したらどうなんだろうということでした。教育委員会に取材を申し込んだのですが、まだ正式発表できないとの事でした。校長先生の方から情報があればいただきたいと思います。

校 長 まだ案の状態なのですが、素案としては、土曜日授業といっても、教科としての授業の延長ではありません。通常の授業数とは別のものになります。過去にやっていた土曜日の授業ではないとのこと。地域人材を持ってきて、授業中には時間がなくてできない、普段できない内容をやっていこうということです。一月に1~2回まで第二か第四土曜日を予定しているようです。月曜日が代休になることはありません。教員の勤務についても考えなくてはいけませんね。小学校ではすでに土曜日に行事などしているところがありますが、中学では部活があるので土曜日は難しいですね。

 全国で中学校で2000校に予算をつけ、350校がパイロット校(小中あわせて)として土曜日授業が始まる予定です。杉並は全校を予定しています。

A委員 内容はそれぞれの学校にまかされているのですか？

校 長 総合的な学習というものを必ず入れなくてははいけません。

A委員 やるからにはちゃんとした事をやらなくてははいけませんね。手間隙かかることをやらなければいけないが、お茶を濁そう」というような事になれば、子供にもまわりにもよくない。エネルギーがいりますね。

 そのエネルギーを有意義に使えることが大切ですね。時間をかけてどのようにするか議論をし、準備をお願いしたいと思います。

 そうでなければ土曜日にやる意味がない。運営協議会もお手伝いしたいと思います。



B 委員

4 月からやるのであれば、今から始めなくてはいけませんね。私は今休日パワーアップ教室も担当していますが、後から日程が決まるので、行事などにより欠席が多くなってしまいます。14 回の授業を 9 時から 16 時まで、塾でもトップレベルの先生をあつめているのに、欠席してしまうのはもったいないです。

杉一小では算数の講座をやる予定です。私もお手伝いする予定なのですが、総合的学習と探求型の算数の授業になる予定です。和田中の世の中科というのは良いものだと思います。情報リテラシーにも関係する事、例えば三鷹で起こった殺人事件。今ここにいる中学生にもアッという間に事件に巻き込まれるということも有り得ます。この機会に、このような事を内容に盛り込んでいくのもよいのではないのでしょうか。

会 長
校 長
A 委員

この会についてもどの程度手伝えるのかを考えていきたいですね。

小学校では英語の授業をやろうかという考えもあるようです。

算数ならば、授業としての算数ではなく数学の面白さを教えてくれるような…？ 因数分解がじつはこんな風に世の中でこんな風に役立っている…というように事をおしえてもらえれば。

B 委員

年内にプログラムを作る予定です。小学校 6 年生に十進法について、手品などで引きつけながら、授業に入ったりしようかと思っています。進度に差がある児童を 45 分間楽しませながらの授業です。

会 長
校 長

いろいろな動きがあるようですね。また情報がありましたら教えてください。では、次は学校評価についてです。

私たちが評価したものを皆さんにみてもらっています。今年も運営委員会の第三者を入れるということで PTA 会長さんをお願いする予定です。

12 月くらいには発足したいと思っています。杉並区の教育評価も踏まえて考えていきたいです。

学校からの報告としまして、区の学力調査の結果をまとめたものをお配りしました。学習生活に関しての結果は高いのですが、区の平均より低い教科がある学年もありました。問題に慣れていない、時間が足りなかったなどの要因はありますが、これからの課題として取り組んでいかなくてもいけないと思っています。補充教室も充実してきたので、平均を上回るようにしたい。生活アンケートからは、学校と生徒そして保護者の関係は良いのではと思える。生徒も素直に育っているのではないかと思います。

A 委員

3 年生の形式は、学力調査の結果がとてもわかりやすい。各学年この形式にしたほうがよいと思う。

ここからは人事なので非公開です。